

平成29年第15回公安委員会定例会議概要

開催日 平成29年5月25日(木)

開催場所 熊本県警察本部公安委員会室

第1 聴聞等についての決裁

運転免許課長から、聴聞5件、意見の聴取19件について説明があり、決裁が行われた。

第2 定例会議

各部からの報告

1 熊本県公安委員会事務専決件数報告について

【報告の要旨】

警務部から、平成29年4月中の熊本県公安委員会事務専決件数についての報告が行われた。

2 「第3回熊本地震等復旧・復興工事情報連絡会議」における暴力団排除に関する調印式の実施について

【報告の要旨】

平成29年6月2日(金)、熊本市内のホテルにおいて、熊本地震からの本格的な復旧・復興工事が発注される新年度の本連絡会議において、復旧・復興工事からの暴力団排除を徹底するため、暴力団排除宣言を行うとともに、熊本県土木部長(連絡会議議長)と熊本県警察本部刑事部長との間で覚書を締結する調印式が行われる。

調印式には、

○ 国の機関

- ・ 国土交通省 九州地方整備局
- ・ 農林水産省 九州農政局、九州森林管理局

○ 県の機関

土木部、農林水産部、各地域振興局土木部・農林部

○ 市町村の機関

県下45市町村 土木・契約等関係課

○ 建設産業団体

熊本県建設業協会、熊本県管工事業組合連合会、熊本県砕石業協同組合連合会、熊本県鉄筋工事業協同組合、熊本県生コンクリート工業組合等

○ 熊本県警察

刑事部長、組織犯罪対策課暴力対策官

が出席し、式の中で一般社団法人熊本県建設業協会会長が暴排宣言を行う予定である。

【委員からの質問及び警察からの説明等】

委員から、「今後、暴力団が関わる可能性はあるのか。」旨の質問があり、警察から、「昨年も熊本地震関連工事に暴力団が関与する事案があっており、暴力団関係者が関わる可能性がある。」旨の説明があった。

3 取調べの録音・録画の試行の実施状況（平成28年度）について

【報告の要旨】

刑事部から、取調べの録音・録画の試行の実施状況（平成28年度）についての報告が行われた。

【委員からの質問及び警察からの説明等】

委員から、「全過程録音・録画することに対して被疑者の反応等に変化があったか。」旨の質問があり、警察から、「被疑者に対し、制度を十分説明して行っているので拒否されたことはない。また、捜査員の技術も上達してきている。」旨の説明があった。

4 だまされた振り作戦による特殊詐欺事件被疑者の検挙について

【報告の要旨】

熊本県警察は、平成29年5月19日（金）、熊本県菊池郡菊陽町の路上において発生した特殊詐欺事件につき、被疑者A（無職、20歳、男性）を詐欺未遂罪で現行犯逮捕した。

【委員からの質問及び警察からの説明等】

委員から、「被疑者のバックにいる者に対してはどのように対処するのか。」旨の質問があり、警察から、「突き上げ捜査を行う。」旨の説明があった。さらに委員から、「被害の現状、民間の協力等を広報し、県民がそれぞれ注意し合うよう啓発をお願いする。」旨の発言があり、警察から、「新聞、テレビ等での積極的な広報に加え県警ホームページやゆっぴー安心メールによる情報発信、県警ひまわり隊による訪問活動を行っている。今後は、高齢者対策だけでなく、子供、孫とのコミュニケーションを活用した対策及び金融機関の水際対策を継続することとしている。」旨の説明があった。

5 出入国管理及び難民認定法違反事件被疑者の検挙について

【報告の要旨】

熊本県警察は、平成29年5月17日（水）に、被疑者A（国籍トルコ共和国、30歳、男性）を、また、平成29年5月21日（日）には、被疑者B（国籍トルコ共和国、29歳、男性）を、いずれも出入国管理及び難民認定法違反（資格外活動）で通常逮捕した。

【委員からの質問及び警察からの説明等】

委員から、「不法就労と難民認定申請のために必要な保護とのバランスは、どのようにしているのか。」旨の発言があり、警察から、「国としては、難民として正規の理由があれば受け入れる方針であると思われるが、難民申請を悪用した不法就労については、不法就労にいたる経緯等を捜査し、適切に対処していく。」旨の説明があった。

第3 報告・決裁等

1 散弾銃所持許可に係る教習資格認定申請の不認定処分決定についての決裁

生活環境課長から、散弾銃所持許可に係る教習資格認定申請の不認定処分決定

についての説明があり、決裁が行われた。

2 平成29年第14回定例会会議録の決裁

公安委員会事務室から、平成29年第14回定例会会議録の説明があり、決裁が行われた。

第4 事務連絡等

公安委員会事務室から、当面の行事予定について事務連絡等が行われた。